

- 当社グループでは、エネルギー起源のCO2排出量の削減をSDGs重点テーマの一つとして設定し、2030年度までに2015年度比で50%削減することを目標としています。
- 既存施設においては空調・照明や車両の省エネ化、電力会社の見直し、新規施設においては廃熱回収発電など、構造的な省エネ・創エネに取り組んでいます。
- これにより、CO2排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年4月～2023年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を118%向上させることを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

再生可能エネルギー由来の電力への切り替え、新設される坂東工場及び札幌営業所については、従来設備よりも消費エネルギーを抑えた設備を導入することなどにより、炭素生産性を118%向上させることを目標とします。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<坂東工場>



<札幌営業所>

